

臨時的支出シミュレーション 図表の見方

シュミレーション結果

将来に渡っての資金残高の
目標とする金額である残高
目標を表示しています。

資金残高の残高目標	
2008年度までは30万円以上、2009年度から2011年度までは60万円以上、2012年度から2016年度までは150万円以上、2017年度から2026年度までは350万円以上、2027年度以降は600万円以上	

シナリオ ID	シナリオ内容	シミュレーション結果			
		残高目標判定	資金残高の最小額		詳細ページ
1	2006年度から10年間、親の介護費用の一部(年50万円)を負担	残高目標を下回る期間が残る	2024年	-489万円	ページ 4
2	2011年度から10年間、親の介護費用の一部(年50万円)を負担	残高目標を下回る期間が残る	2024年	-206万円	ページ 13
3	2016年度から10年間、親の介護費用の一部(年50万円)を負担	残高目標を下回る期間が残る	2025年	-56万円	ページ 22
4	2021年度から10年間、親の介護費用の一部(年50万円)を負担	残高目標を上回る	2006年	97万円	ページ 31
5	2026年度から10年間、親の介護費用の一部(年50万円)を負担	残高目標を上回る	2006年	97万円	ページ 40

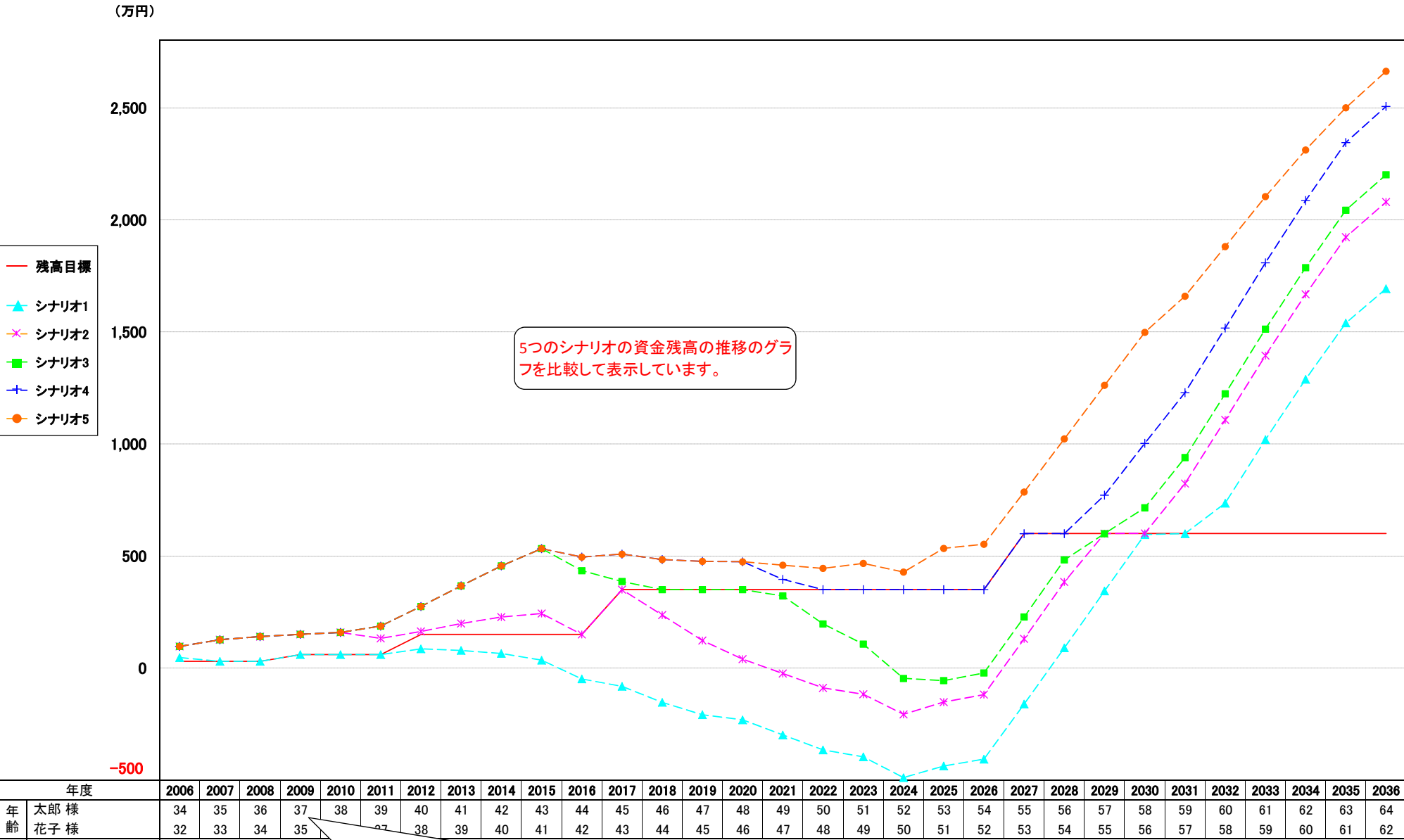
シミュレーションを行ったシナリオを表示しています。1行ごとに1つのシナリオを表します。

各シナリオにおける、シナリオのタイトルを表示しています。

各シナリオにおける、資金残高が将来に渡って残高目標を上回るか、残高目標を下回る期間が残るかの判定を表示しています。

各シナリオにおける将来に渡っての資金残高の推移の中で、その最小額と最小となる年度を表示しています。

資金残高の推移



年度末時点における、夫、妻の方の年齢を表示しています。資金残高が多い時期や少ない時期と年齢との関係を確認することができます。

注) 年齢は年度末時点を表示しています。

シナリオ1 シミュレーション詳細

各シナリオのシミュレーション詳細の図表は、「資金残高キャッシュフロー」と同じ形式の図表を使用しています。シミュレーション詳細の図表については、「資金残高キャッシュフロー」の図表の見方をご参照下さい。